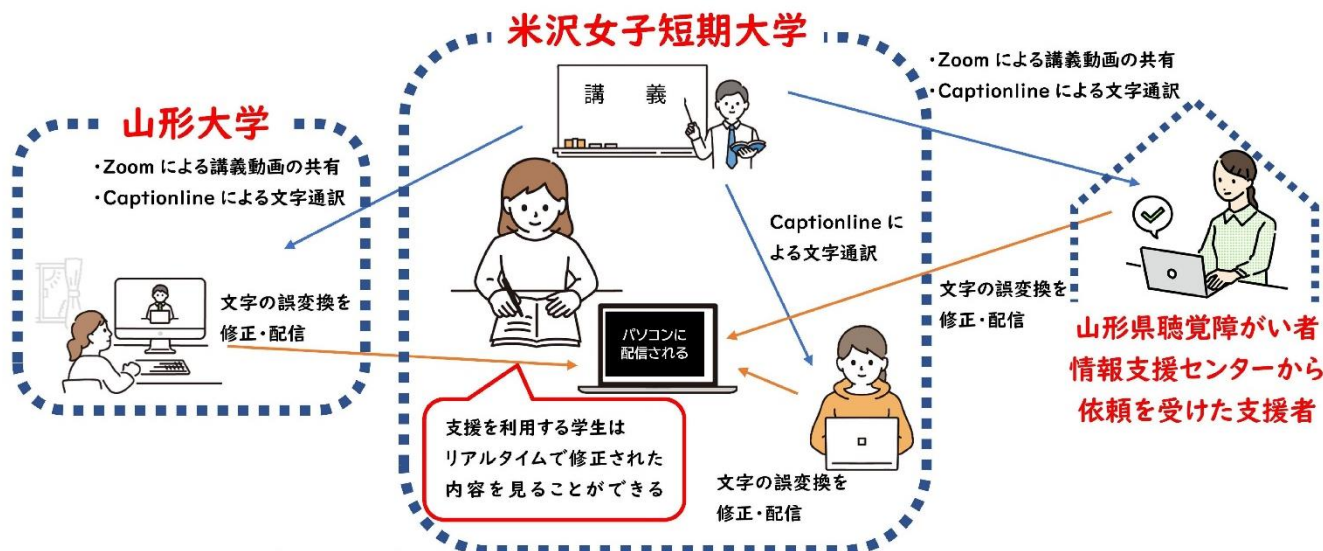


県内初！ 大学間連携・官学連携による 聴覚障がい学生へのオンライン情報保障支援

オンライン情報保障支援の流れ



captiOnline(キャプションライン)
筑波技術大学・若月大輔准教授が開発されたもので、オンラインで情報保障と音声認識ができるWebシステム

2020年度から山形大学と連携し、県内初のオンラインによる情報保障支援として、聴覚障がいを持つ学生への文字通訳を行っています。

また、2022年度からは山形大学の学生に加え、山形県聴覚障がい者情報支援センターから県内外の支援者を紹介していただき、各講義で大学間連携・官学連携によるオンライン支援を始めています。

こうした支援方法を実施することで、県内外どこからでも支援にあたることのできるため、自大学で支援者が不足する場合でも支援を行うことができます！また、支援技術を持っているものの支援の場がなかった支援者の方々にとって、ご自身の技術を存分に発揮できる機会にもなります。



～支援を利用する学生の声～

今まで PC テイクによる支援を受けたことがなかったので、新鮮です。大学は教室が広い
ため、自動音声認識の機能はとても助かっています。また、支援者の方のおかげでいつも
楽しく授業を受けられています。私たちのように障がいを持つ人と関わる機会が、支援して
くださるみなさんにとって少しでも価値あるものになればとても嬉しく思います！これか
らよろしくお願いいたします。



～支援者の声～

支援を利用する人、支援者同士、先生方とのコミュニケーションが必要になるため、自然
とコミュニケーション能力が培われます。また、障がいを持つ方への対応の仕方を学ぶよい
機会になっています。PC テイクをする上では、トラブルの際に対処する力が身についたり、
タイピングの技術が上達したりと、自分自身の学生生活にも役立つ活動ができることが魅
力です。